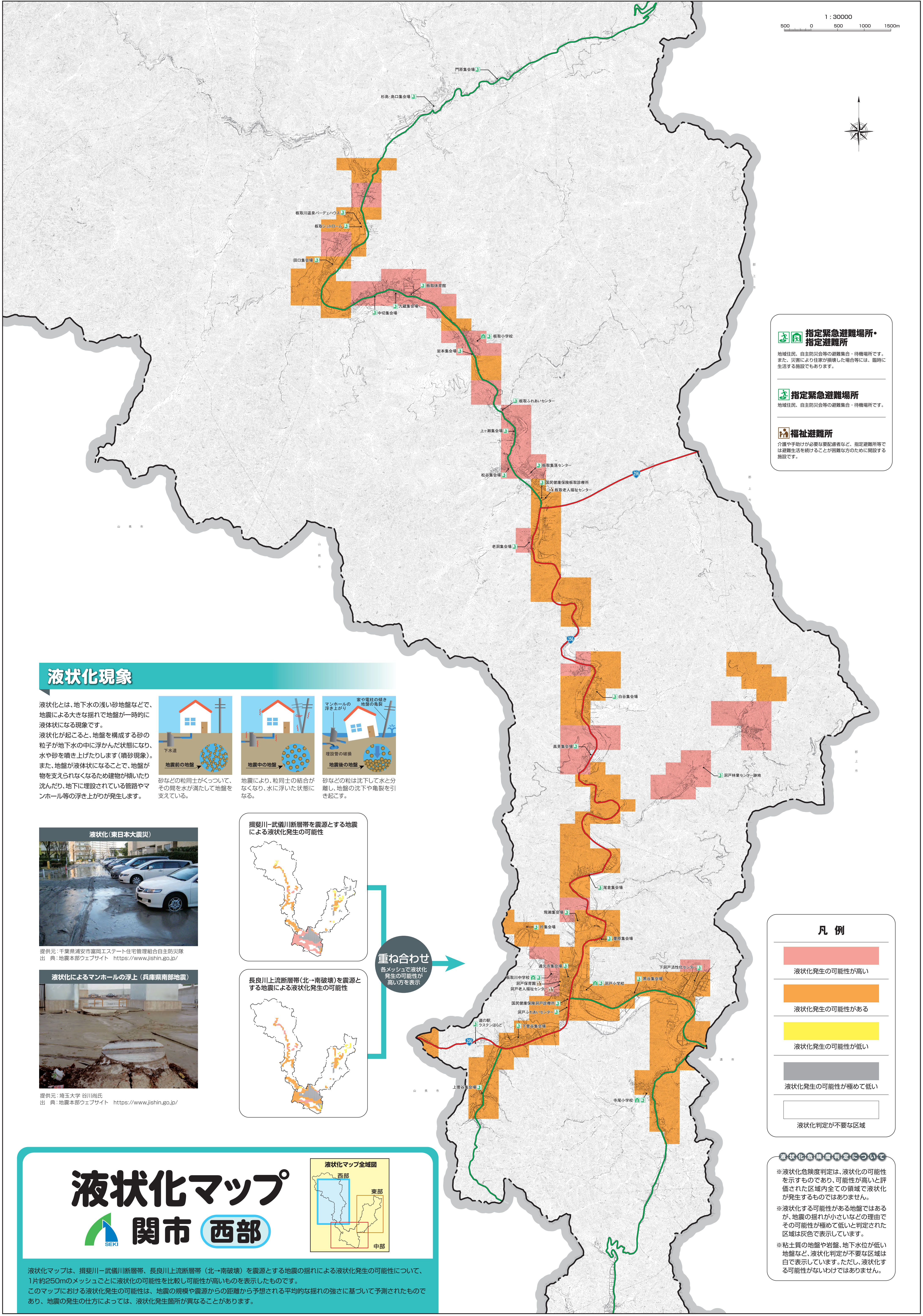




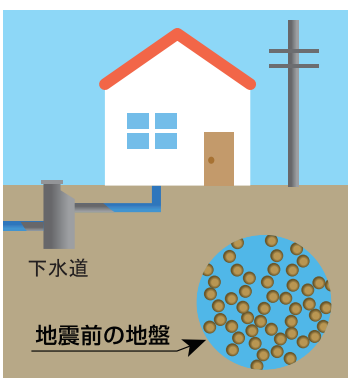
指定緊急避難場所・指定避難所
地域住民、自主防災会等の避難集合・待機場所です。また、災害により住家が損壊した場合等には、臨時に生活する施設でもあります。

指定緊急避難場所
地域住民、自主防災会等の避難集合・待機場所です。

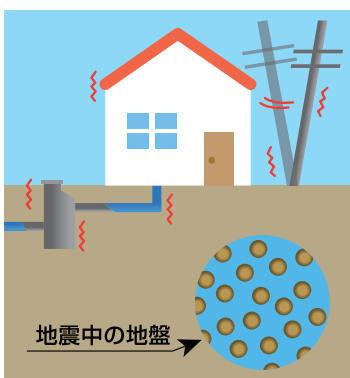
福祉避難所
介護や手助けが必要な要配慮者など、指定避難所等では避難生活を続けることが困難な方のために開設する施設です。

液状化現象

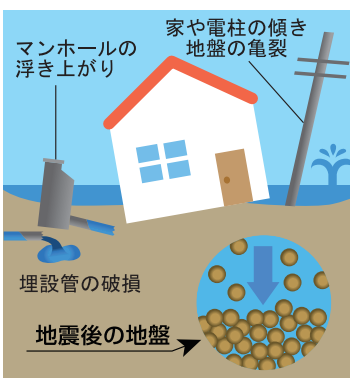
液状化とは、地下水の浅い砂地盤などで、地震による大きな揺れで地盤が一時的に液体状になる現象です。液状化が起こると、地盤を構成する砂の粒子が地下水の中に浮かんだ状態になり、水や砂を噴き上げたりします（噴砂現象）。また、地盤が液体状になることで、地盤が物を支えられなくなるため建物が傾いたり沈んだり、地下に埋設されている管路やマンホール等の浮き上がりが発生します。



砂などの粒同士がくっついて、その間を水が満たして地盤を支えている。



地震により、粒同士の結合がなくなり、水に浮いた状態になる。



砂などの粒は沈下して水と分離し、地盤の沈下や亀裂を引き起こす。

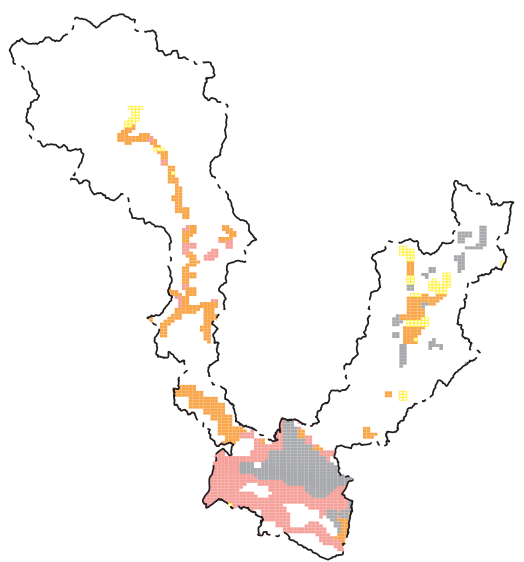


液状化(東日本大震災)
提供元：千葉県浦安市富岡工ステート住宅管理組合自主防災隊
出 典：地震本部ウェブサイト <https://www.jishin.go.jp/>

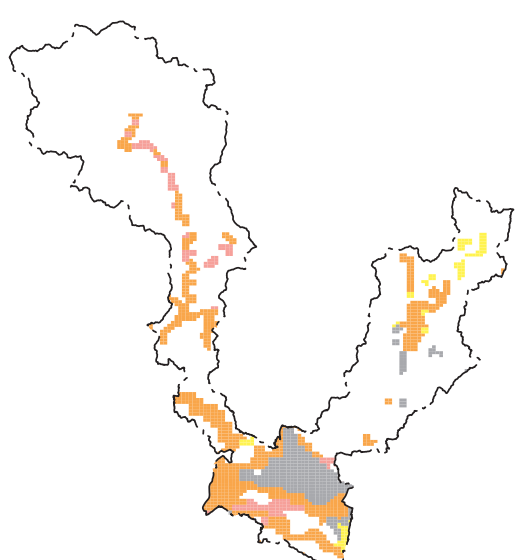


液状化によるマンホールの浮上(兵庫県南部地震)
提供元：埼玉大学 谷川尚氏
出 典：地震本部ウェブサイト <https://www.jishin.go.jp/>

揖斐川-武儀川断層帯を震源とする地震による液状化発生の可能性



長良川上流断層帯(北→南破壊)を震源とする地震による液状化発生の可能性



重ね合わせ
各メッシュで液状化発生の可能性が高い方を表示

凡 例

- 液状化発生の可能性が高い
- 液状化発生可能性がある
- 液状化発生の可能性が低い
- 液状化発生の可能性が極めて低い
- 液状化判定が不要な区域

液状化危険度判定について

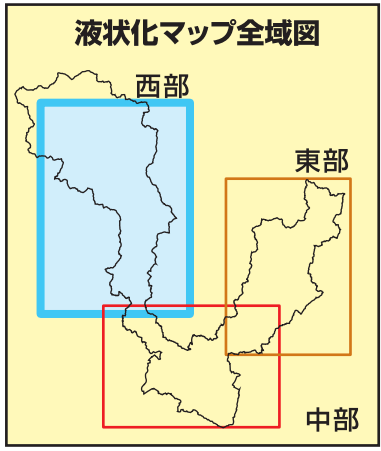
※液状化危険度判定は、液状化の可能性を示すものであり、可能性が高いと評価された区域内全ての領域で液状化が発生するものではありません。

※液状化する可能性がある地盤ではあるが、地震の揺れが小さいなどの理由でその可能性が極めて低いと判定された区域は灰色で表示しています。

※粘土質の地盤や岩盤、地下水位が低い地盤など、液状化判定が不要な区域は白で表示しています。ただし、液状化する可能性がないわけではありません。

液状化マップ

関市 西部



液状化マップは、揖斐川-武儀川断層帯、長良川上流断層帯(北→南破壊)を震源とする地震の揺れによる液状化発生の可能性について、1片約250mのメッシュごとに液状化の可能性を比較し可能性が高いものを表示したものです。このマップにおける液状化発生の可能性は、地震の規模や震源からの距離から予想される平均的な揺れの強さに基づいて予測されたものであり、地震の発生の仕方によっては、液状化発生箇所が異なることがあります。